

# 令和5年度 障害者支援施設等における 事故報告集計結果

- I 令和5年度の状況
  - 1 事故の内容
  - 2 事故の月別発生件数
  - 3 事故の内容別月別発生件数
    - (1) 骨折の月別発生件数
    - (2) 打撲の月別発生件数
    - (3) 誤薬の月別発生件数
    - (4) 無断外出の月別発生件数
    - (5) 誤嚥の月別発生件数と重症化
  - 4 骨折と打撲における受傷部位
  - 5 事故の施設別発生件数
  - 6 事故の発生事例
- II 令和5年度の重大事故
  - 1 重大事故・死亡事故の割合
  - 2 重大事故の内容
  - 3 重大事故の月別発生件数
  - 4 重大事故の施設別発生件数
- III 年度比較
  - 1 事故報告件数の年度推移
  - 2 事故の内容
- IV その他
  - 1 対象施設一覧

北海道保健福祉部

# I 令和5年度の状況

## 1. 事故の内容

表1 事故の区分 (単位:件、%)

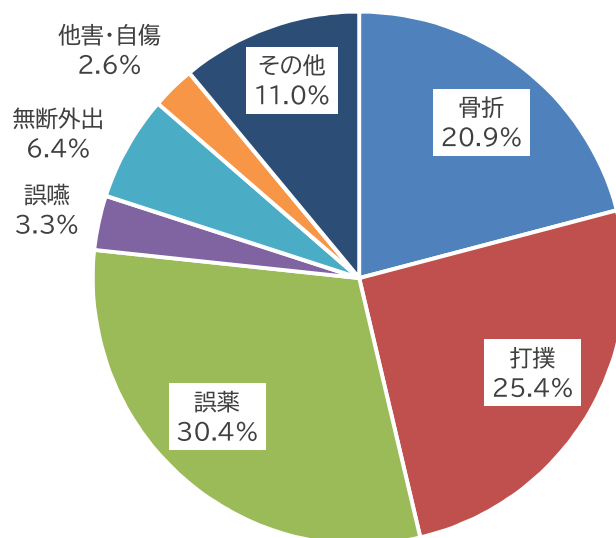
区 分	件数	構成比
骨折 ※1	391	20.9
打撲 ※2	475	25.4
誤薬	568	30.4
誤嚥 ※3	62	3.3
無断外出	119	6.4
他害・自傷	49	2.6
その他	206	11.0
合 計	1,870	100.0

※1 骨折:骨折のほか、腱断裂など全治1ヶ月以上の重傷を含む。

※2 打撲:打撲のほか、裂傷・擦過傷・切傷・刺傷などで、全治1ヶ月未満の軽傷を含む。

※3 誤嚥 : 誤嚥のほか、誤飲、誤食を含む。

グラフ1 事故の区分



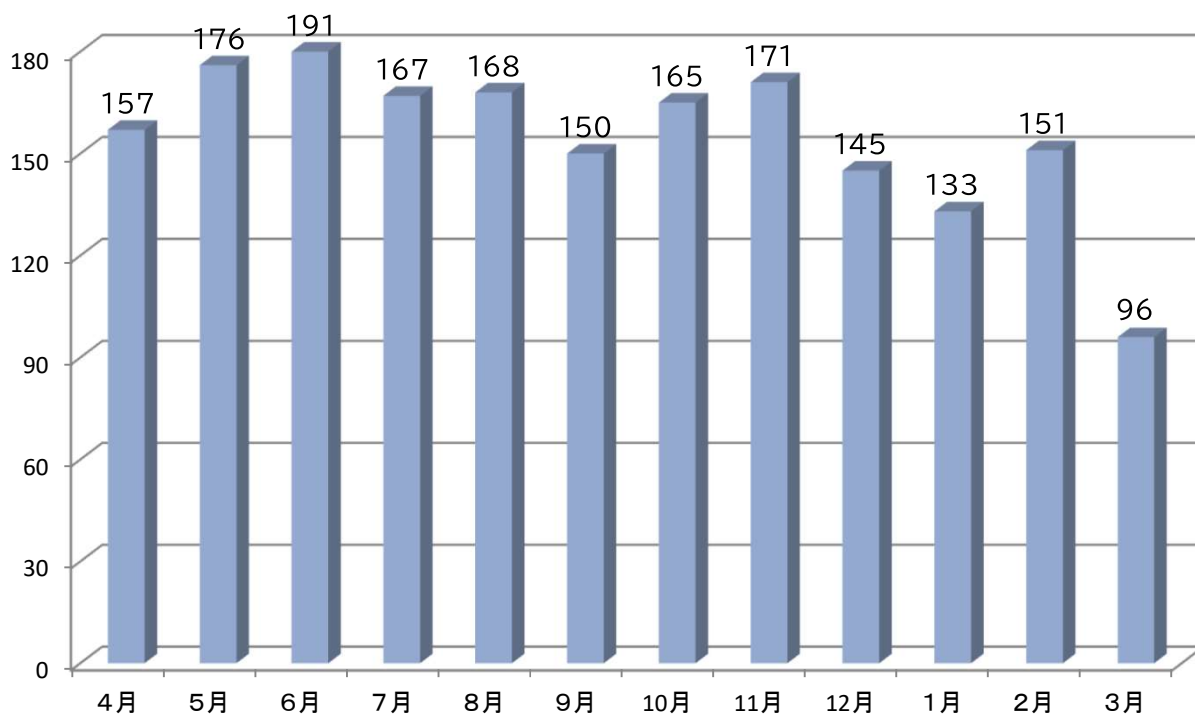
令和5年度の事故報告総数は1,870件であり前年度(1,809件)に比べ3.3%増加した。事故で最も多かったのは、「誤薬」の568件(30.4%)で、次いで「打撲」が475件(25.4%)、「骨折」が391件(20.9%)となっている。

## 2. 事故の月別発生件数

表2 事故の月別発生件数 (単位: 件、%)

月	件数	構成比
4月	157	8.4
5月	176	9.4
6月	191	10.2
7月	167	8.9
8月	168	9.0
9月	150	8.0
10月	165	8.8
11月	171	9.1
12月	145	7.8
1月	133	7.1
2月	151	8.1
3月	96	5.1
合計	1,870	100.0

グラフ2 事故の月別発生件数



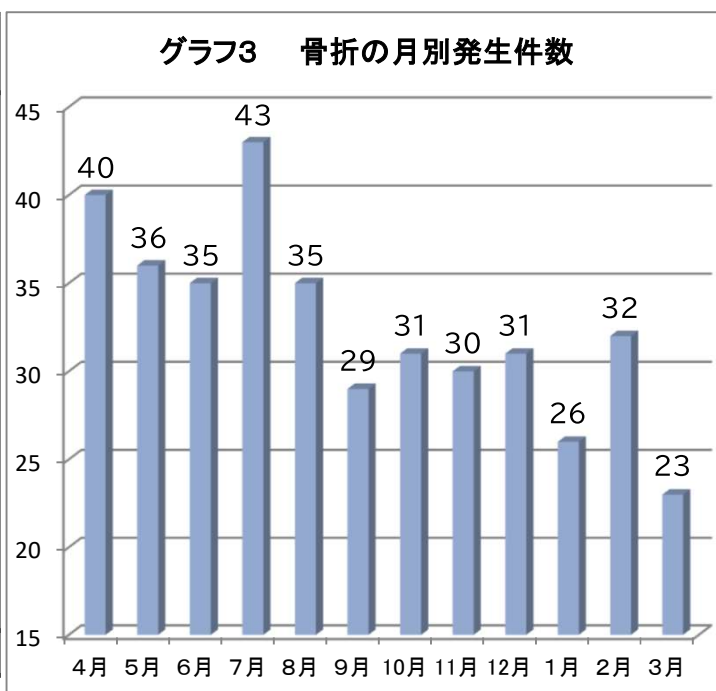
事故の月別発生件数は、6月が191件と最も多く、次いで5月が176件となっている。

### 3. 事故の内容別月別発生件数

#### (1) 骨折の月別発生件数(表3)

(単位:件、%)

月	件数	構成比
4月	40	10.2
5月	36	9.2
6月	35	9.0
7月	43	11.0
8月	35	9.0
9月	29	7.4
10月	31	7.9
11月	30	7.7
12月	31	7.9
1月	26	6.6
2月	32	8.2
3月	23	5.9
合計	391	100.0

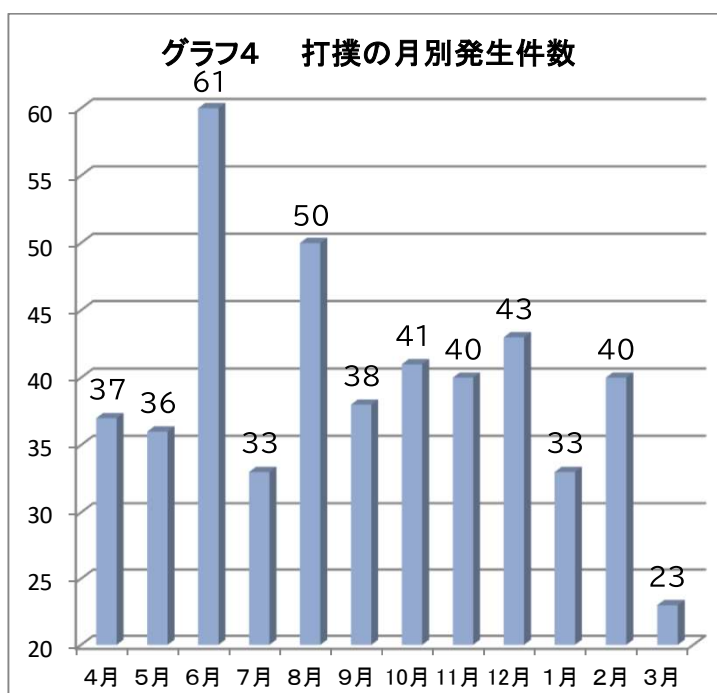


骨折の月別発生件数は、7月が43件と最も多く、3月が23件で最も少なかった。

#### (2) 打撲の月別発生件数(表4)

(単位:件、%)

月	件数	構成比
4月	37	7.8
5月	36	7.6
6月	61	12.8
7月	33	6.9
8月	50	10.5
9月	38	8.0
10月	41	8.6
11月	40	8.4
12月	43	9.1
1月	33	6.9
2月	40	8.4
3月	23	4.8
合計	475	100.0

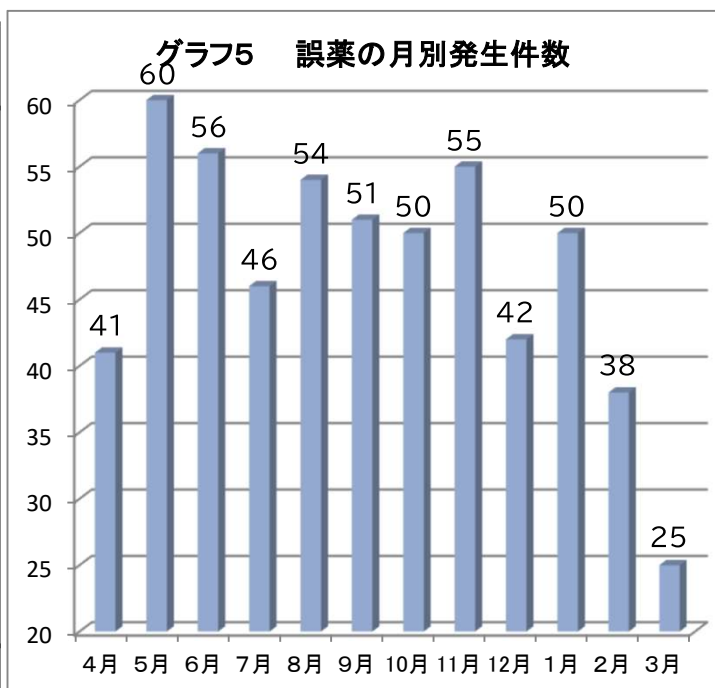


打撲は、6月が61件と最も多く、3月が23件で最も少なかった。

### (3) 誤薬の月別発生件数(表5)

(単位: 件、%)

月	件数	構成比
4月	41	7.2
5月	60	10.6
6月	56	9.9
7月	46	8.1
8月	54	9.5
9月	51	9.0
10月	50	8.8
11月	55	9.7
12月	42	7.4
1月	50	8.8
2月	38	6.7
3月	25	4.4
合計	568	100.0

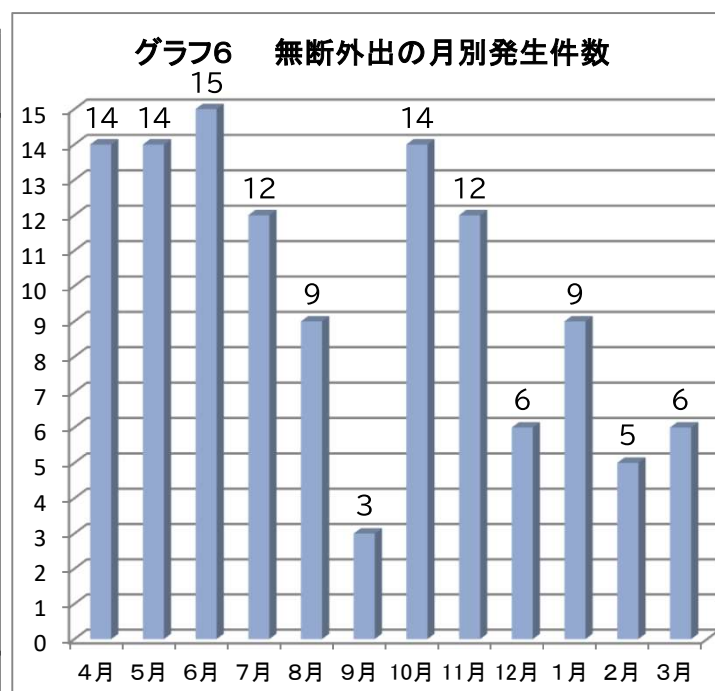


誤薬の年間発生件数は、5月が60件と最も多く、3月が25件と最も少なかった。

### (4) 無断外出の月別発生件数(表6)

(単位: 件、%)

月	件数	構成比
4月	14	11.8
5月	14	11.8
6月	15	12.6
7月	12	10.1
8月	9	7.6
9月	3	2.5
10月	14	11.8
11月	12	10.1
12月	6	5.0
1月	9	7.6
2月	5	4.2
3月	6	5.0
合計	119	100.0



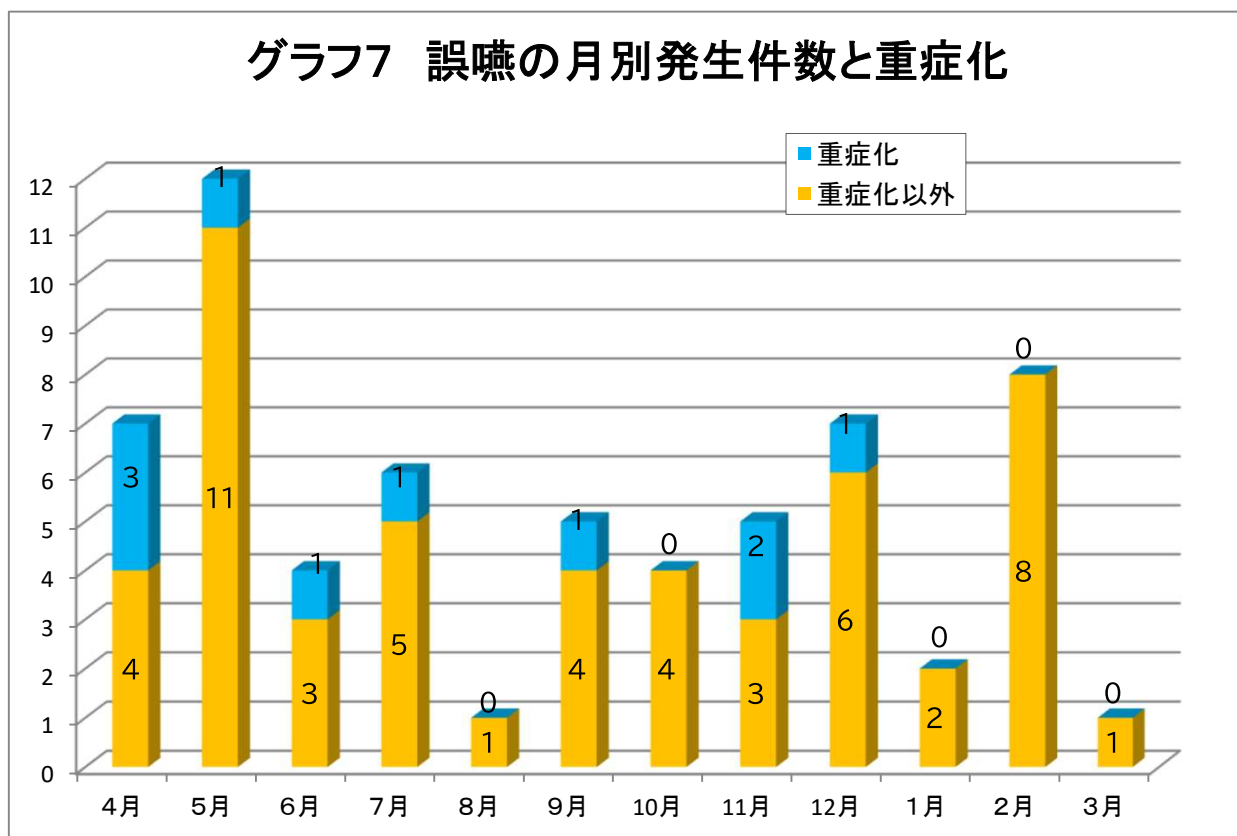
無断外出は、6月が15件と最も多く、9月が3件で最も少なかった。

## (5) 誤嚥の月別発生件数と重症化(表7)

(単位:件、%)

月	件数	左の内訳		
		重症化以外	重症化	重症化の割合
4月	7	4	3	42.9
5月	12	11	1	8.3
6月	4	3	1	25.0
7月	6	5	1	16.7
8月	1	1	0	0.0
9月	5	4	1	20.0
10月	4	4	0	0.0
11月	5	3	2	40.0
12月	7	6	1	14.3
1月	2	2	0	0.0
2月	8	8	0	0.0
3月	1	1	0	0.0
合計	62	52	10	16.1

※ 重症化 : 死亡や誤嚥性肺炎による入院など



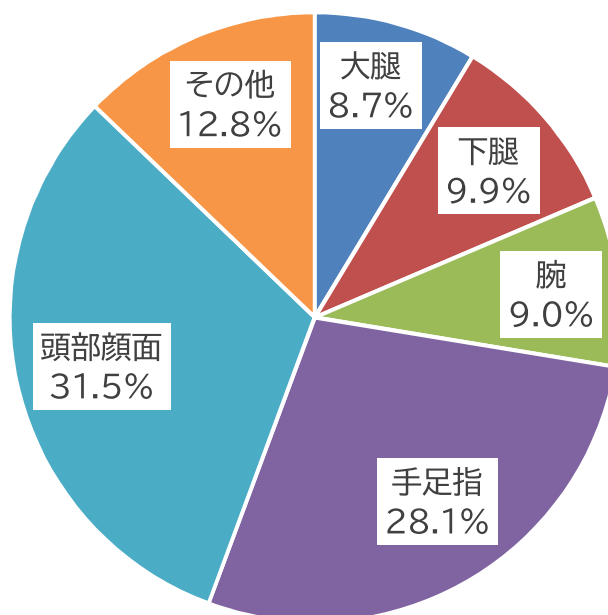
誤嚥の月別発生件数は、5月は12件と最も多く、8月と3月が、1件で最も少なかった。また、全体に占める重症化の割合は16.1%となっている。

## 4. 骨折と打撲における受傷部位

表8 骨折と打撲における受傷部位 (単位:件、%)

区分	件数	構成比	左の内訳			
			骨折		打撲	
			件数	構成比	件数	構成比
大腿	75	8.7	63	16.1	12	2.5
下腿	86	9.9	48	12.3	38	8.0
腕	78	9.0	51	13.0	27	5.7
手足指	243	28.1	145	37.1	98	20.6
頭部顔面	273	31.5	17	4.3	256	53.9
その他	111	12.8	67	17.1	44	9.3
合計	866	100.0	391	100.0	475	100.0

グラフ8 骨折と打撲における受傷部位



骨折と打撲における主な部位では、「頭部顔面」が全体の31.5%(273件)で最も多かった。

また、骨折の受傷部位は「手足指」が37.1%(145件)と最も多く、打撲の受傷部位は「頭部顔面」が53.9%(256件)と最も多かった。

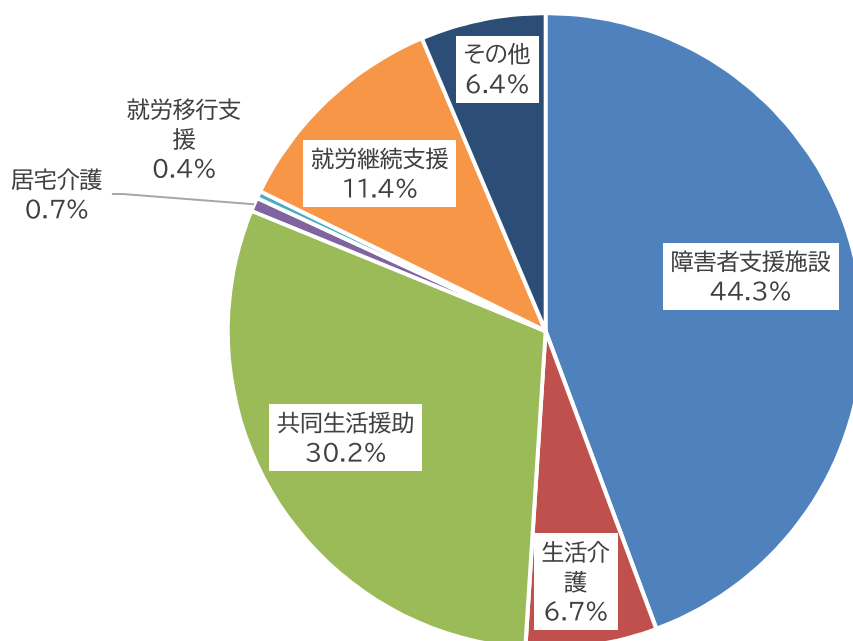
## 5. 事故の施設別発生件数

表9 事故の施設別発生件数

(単位:件、%)

区 分	件数	構成比
障害者支援施設	829	44.3
生活介護	125	6.7
共同生活援助	564	30.2
居宅介護	13	0.7
就労移行支援	7	0.4
就労継続支援	213	11.4
その他	119	6.4
合 計	1,870	100.0

グラフ9 事故の施設別発生件数



事故の施設別発生件数は、「障害者支援施設」におけるものが44.3% (829件)で最も多く、次いで、「共同生活援助」の発生件数が、30.2% (564件)となっている。



## 6 事故の発生事例

### (1) 骨折・打撲

施設区分	事 故 概 要
障害者支援施設	静養室のドアを数回蹴り飛ばし、変色があり、受診した結果、右足第三指骨折。
障害者支援施設	階段で他利用者と接触し、後ろ向きに5段程度転落。救急搬送され、頭部裂傷、肋骨骨折により全治2か月との診断を受ける。
障害者支援施設	プランターに水やりをしているときに転倒。左母指末節骨骨折。
障害者支援施設	居室内で就寝するよう伝えると激高し職員や壁を叩く。左手甲が腫れ病院受診。打撲の診断。
障害者支援施設	2階の自室の窓から飛び降り、コンクリート地面に着地。右踵に疼痛、腫脹あり病院を受診。右踵の粉碎骨折の診断を受ける。
共同生活援助	利用者が居室とリビングで2回転倒。2回目転倒後、救急車を呼び搬送。両肘、両膝打撲。

### (2) 誤薬・誤嚥

施設区分	事 故 概 要
共同生活援助	利用者が誤って朝食後に服用する薬を夕食後に服用した。体調の変化はなし。
共同生活援助	利用者の様子がおかしいため確認すると、自己管理している薬を大量に服薬したとのこと。
障害者支援施設	利用者が昼食中、野菜スープを飲んだ際に誤嚥。背部叩打法を行い、薄い玉葱排出。

### (3) 無断外出

施設区分	事 故 概 要
障害者支援施設	1階にある食堂の窓から無断外出するも、自力で戻ってくる。
共同生活援助	食事の際に姿がなく、居室内にもいないため、警察に行方不明届を提出する。翌日、施設外で警察に保護される。

## Ⅱ 令和5年度の重大事故

### 1. 重大事故、死亡事故の割合

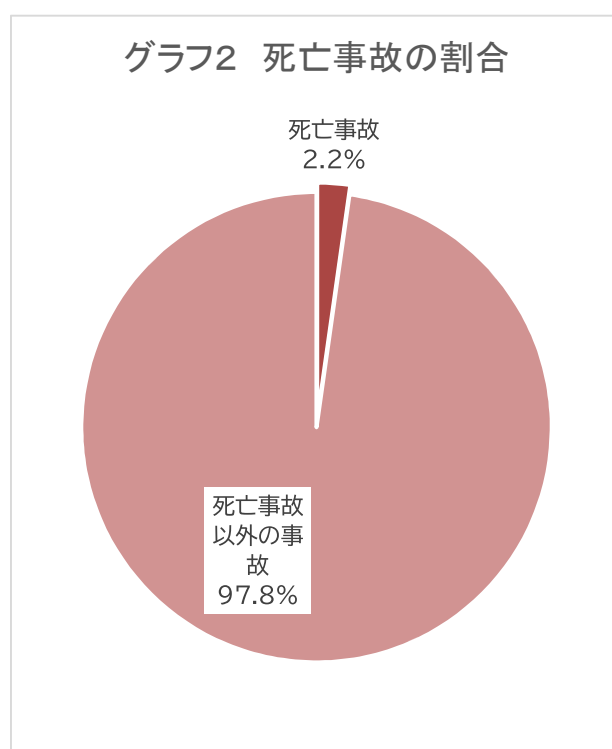
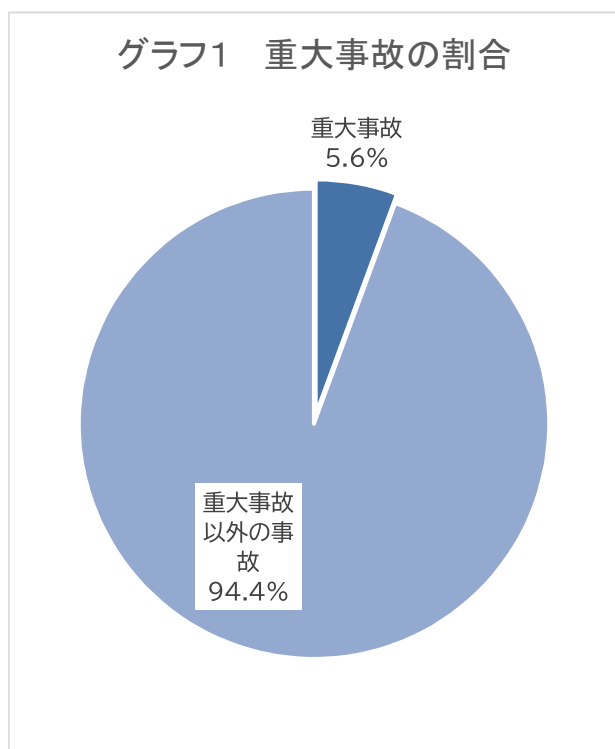
表1 重大事故の割合 (単位: 件、%)

区 分	件数	構成比
		重大事故
重大事故以外の事故	1,765	94.4
合 計	1,870	100.0

※ 重大事故 : 死亡事故、不法行為、虐待、行方不明等

表2 死亡事故の割合 (単位: 件、%)

区 分	件数	構成比
		死亡事故
死亡事故以外の事故	1,828	97.8
合 計	1,870	100.0



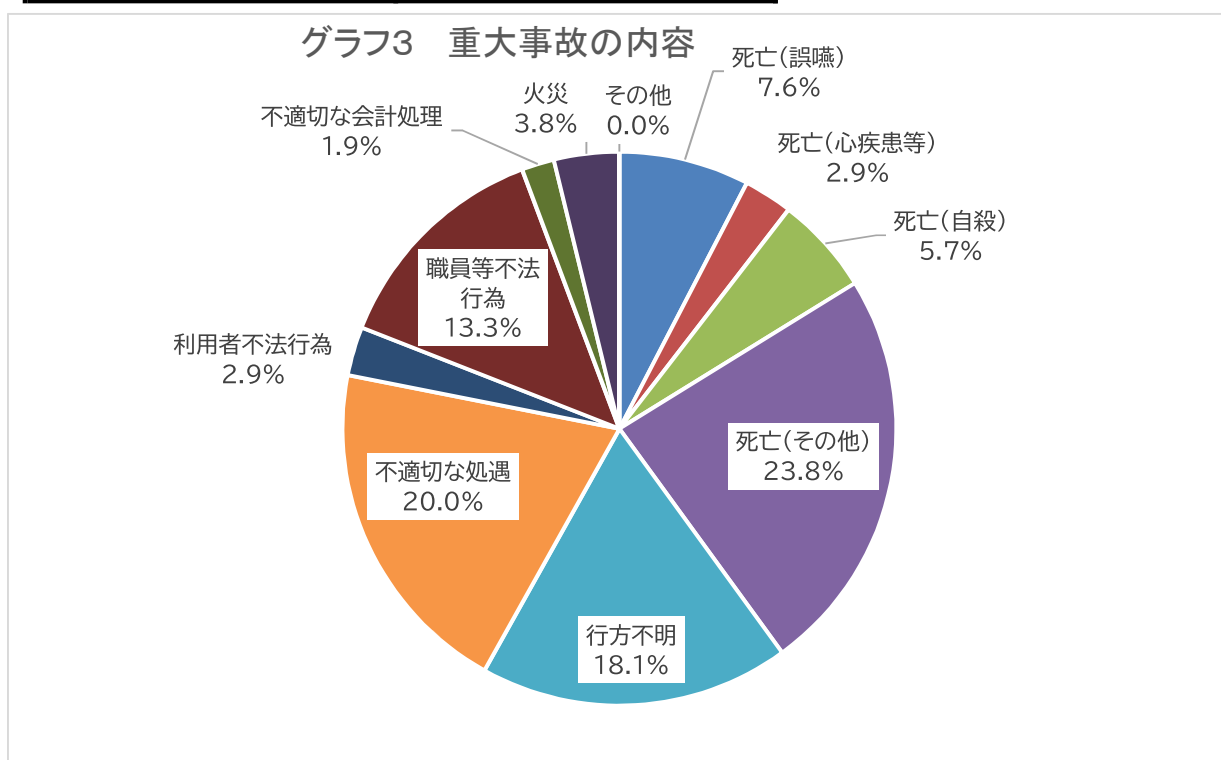
重大事故の事故報告総数は105件で、全体に占める割合は、5.6%であり、老人施設等と比べて高い割合になっている。

また、死亡事故の事故報告総数は42件で、全体に占める割合は2.2%、重大事故に占める割合は40.0%となっている。

## 2. 重大事故の内容

表3 重大事故の内容 (単位:件、%)

区 分	件数	構成比
死亡(誤嚥)	8	7.6
死亡(心疾患等)	3	2.9
死亡(自殺)	6	5.7
死亡(その他)	25	23.8
行方不明	19	18.1
不適切な処遇	21	20.0
利用者不法行為	3	2.9
職員等不法行為	14	13.3
不適切な会計処理	2	1.9
火災	4	3.8
その他	0	0.0
合 計	105	100.0

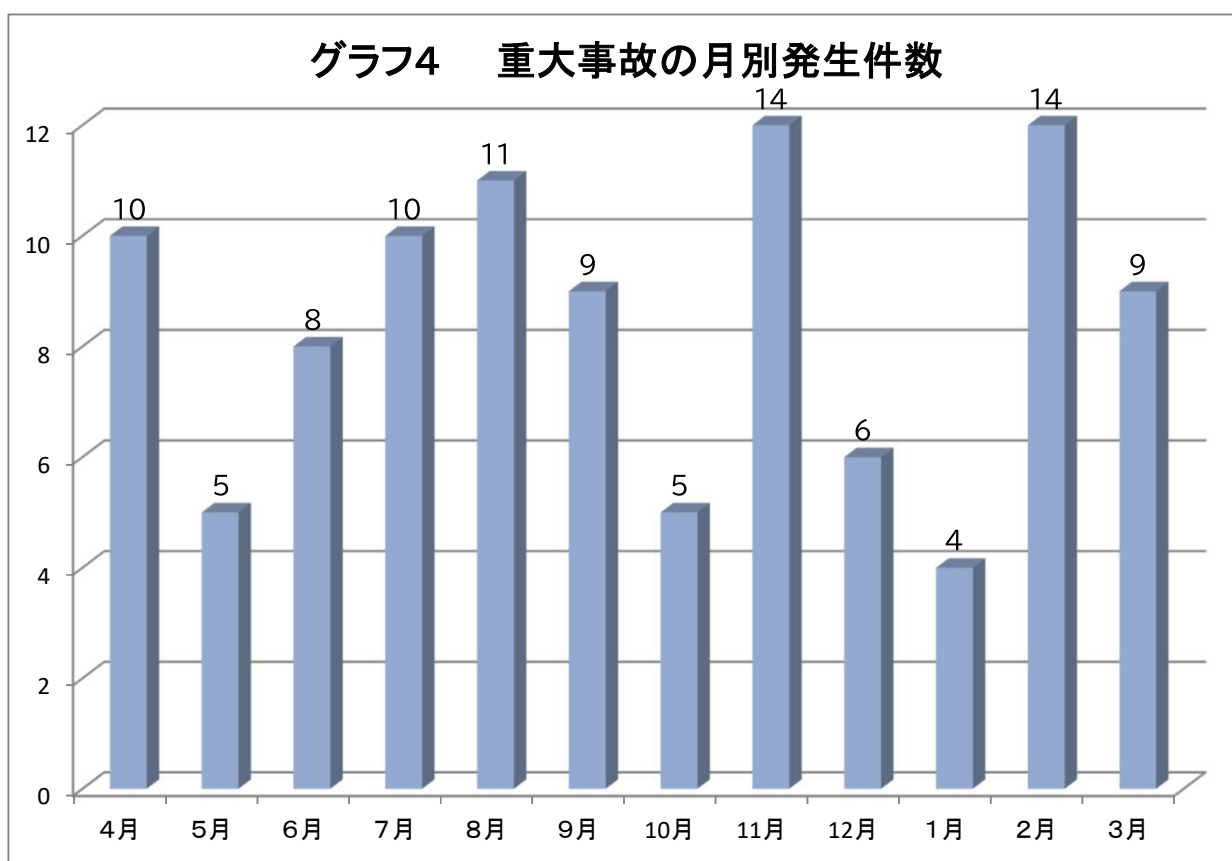


重大事故の内容については、「死亡(その他)」を除いては、「不適切な処遇」が最も多く全体の20.0%(21件)を占め、次いで「行方不明」が18.1%(19件)となっている。

### 3. 重大事故の月別発生件数

表4 重大事故の月別発生件数 (単位:件、%)

月	件数	構成比
4月	10	9.5
5月	5	4.8
6月	8	7.6
7月	10	9.5
8月	11	10.5
9月	9	8.6
10月	5	4.8
11月	14	13.3
12月	6	5.7
1月	4	3.8
2月	14	13.3
3月	9	8.6
合計	105	100.0



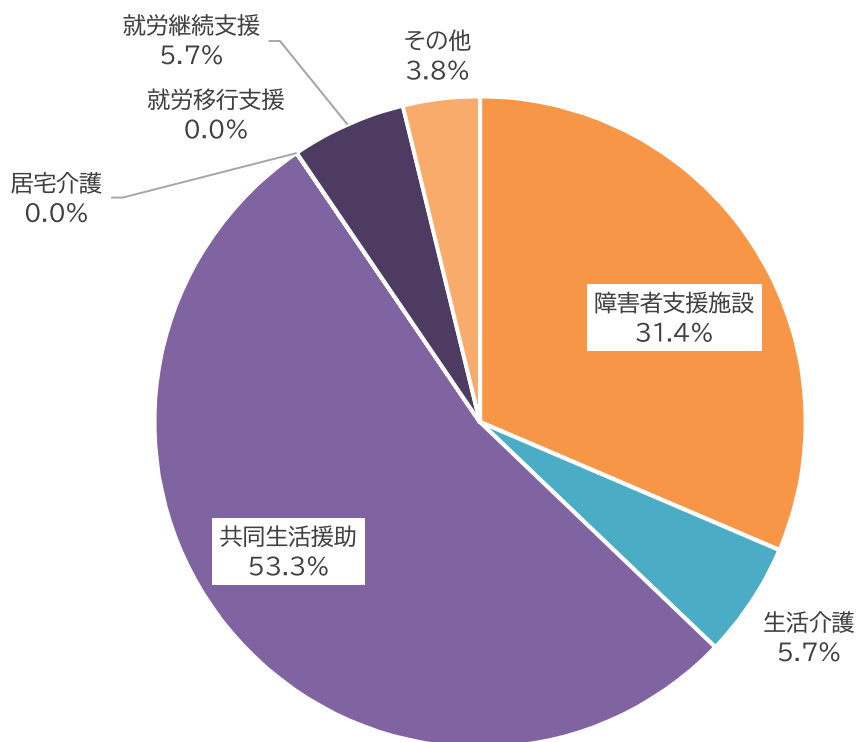
重大事故の月別発生件数は、11月と2月が14件と最も多く、最も少ないのは1月の4件となっている。

## 4. 重大事故の施設別発生件数

表5 重大事故の施設別発生件数 (単位: 件、%)

区 分	件数	構成比
障害者支援施設	33	31.4
生活介護	6	5.7
共同生活援助	56	53.3
居宅介護	0	0.0
就労移行支援	0	0.0
就労継続支援	6	5.7
その他	4	3.8
合 計	105	100.0

グラフ5 重大事故の施設別発生件数



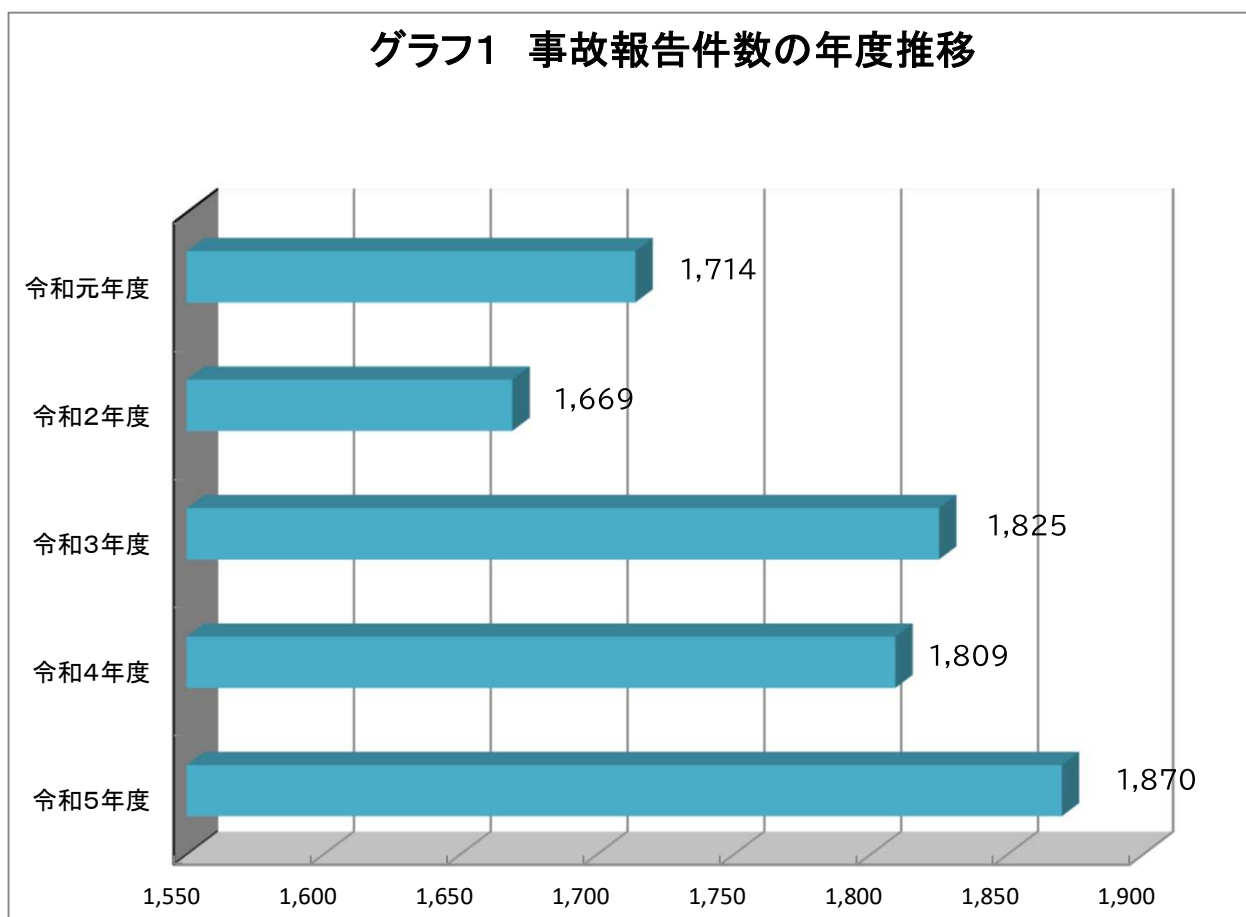
重大事故の施設別発生件数は、「共同生活援助」が56件(53.3%)、「障害者支援施設」が33件(31.4%)と多く、合計で全体の約8割を占めている。

### Ⅲ 年度比較

#### 1. 事故報告件数の年度推移

表1 事故報告件数 (単位:件、%)

区 分	件数	対前年比
令和5年度	1,870	103.4%
令和4年度	1,809	99.1%
令和3年度	1,825	109.3%
令和2年度	1,669	97.4%
令和元年度	1,714	109.1%

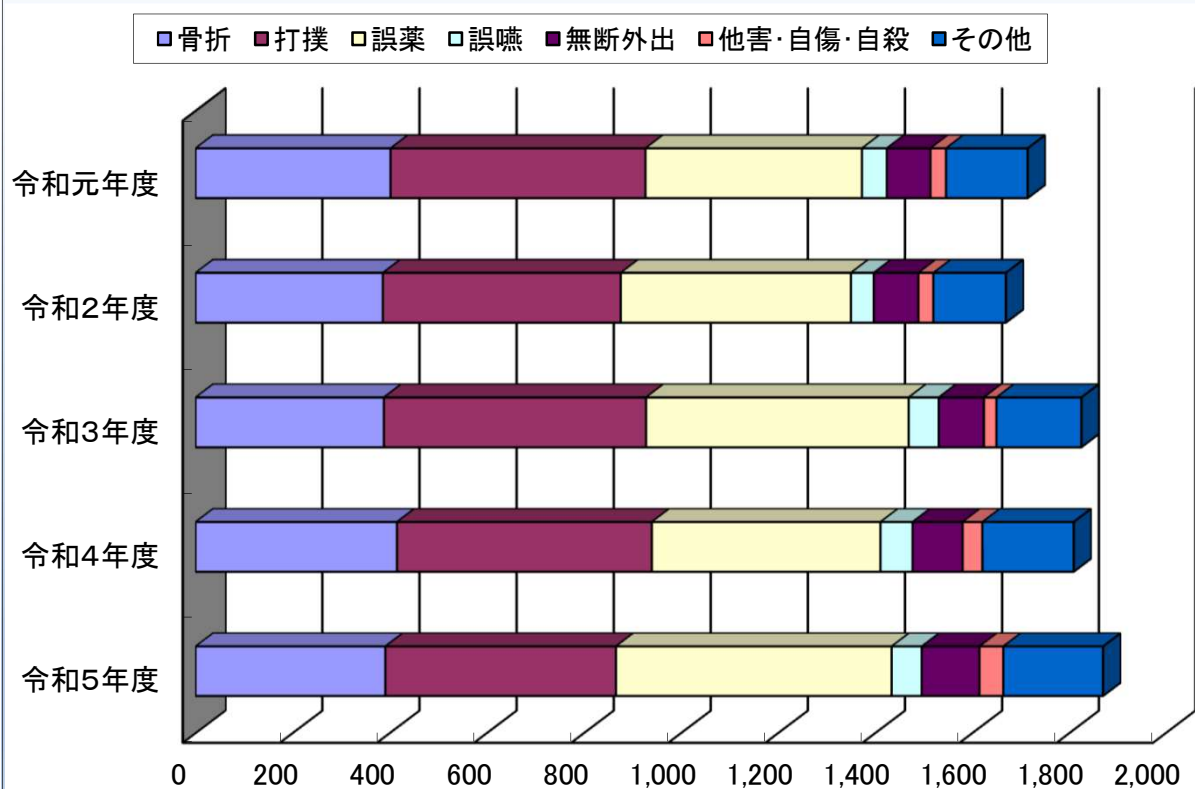


## 2. 事故の内容

表2 事故内容の年度推移 (単位: 件)

区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
骨折	402	386	388	415	391
打撲	525	490	540	525	475
誤薬	446	474	541	471	568
誤嚥	51	47	62	66	62
無断外出	90	92	93	103	119
他害・自傷・自殺	32	31	26	41	49
その他	168	149	175	188	206
合計	1,714	1,669	1,825	1,809	1,870

グラフ2 事故内容の年度推移



## IV その他

### 1. 対象施設一覧

居宅介護
重度訪問介護
同行援護
行動援護
療養介護
生活介護
短期入所
重度障害者等包括支援
自立訓練(機能訓練)
自立訓練(生活訓練)
就労移行支援
就労継続支援A型
就労継続支援B型
共同生活援助
障害者支援施設
一般相談支援
特定相談支援
移動支援
地域活動支援センター
福祉ホーム
盲人ホーム
その他